



ファッションデザイナーの安藤大春氏がデザイン モスバーガーのコスチュームを3年ぶりに変更

“着心地”を重視し、従業員の「働きやすさ」を追求した設計に

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、2023年6月1日（木）より順次、モスバーガーの店舗で着用するコスチューム（制服）を3年ぶりに変更します。

新しいコスチュームは、「快適さ」をテーマに、機能性と着心地の良さを重視しました。デザインを手がけたのは、ファッションデザイナー安藤大春氏（<https://ohalando.com>）です。今回は、新しい設計のモス店舗にも合うよう、ブルーを基調とした「品格」「清潔感」が感じられるデザインにしました。働き手の視点に立った機能的な設計に加え、スタイリッシュな見た目にするこ
とで「着てみたい、モスで働いてみたい」と思ってもらえるコスチュームを目指しました。

今回導入するのは、「キャストコスチューム」と、店長や副店長、マネージャーが着用する「マネージャーコスチューム」の2種類です。



【新コスチュームイメージ】

（左：マネージャーコスチューム 右：キャストコスチューム）

<安藤大春氏について>

1972年7月21日生まれ。早稲田大学卒。1999年に東京コレクションデビュー。その後、数ブランドのデザイナーを経て2015年にレディースブランド「MIDDLA」をスタート。翌年、TOKYO 新人デザイナーファッション大賞プロ部門受賞。2020年にメンズブランド「oha」をスタート。今年5月、俳優・上野樹里とともにブランド「TuiKauri」を立ち上げ、ファシリテーターを務める。最近では若手クラシックアーティストの衣装を多数手掛けている。



<デザイン・機能面の詳細>

【シャツ】

- ・ 軽い着心地と動きやすさを目指しハイストレッチ素材（ポリエステル100%）を採用。
- ・ トrendに合わせ、ゆったりとしたシルエットに。
- ・ マネージャーは、リーダーシップと洗練された印象が感じられるよう、濃色のマリンブルーのシャツスタイルを採用。
- ・ キャストは、爽やかさと親しみやすさを感じられるよう、スカイブルーのTシャツスタイルを採用。

【サロン（エプロン）】

- ・ 配色は着用時に気が引き締まるネイビーブルー。
- ・ シーンに合わせて、胸当てと腰巻きに変更できる2WAYタイプ。
- ・ 油汚れが落ちやすい加工。
- ・ 耐久性・速乾性・イージーケアなど機能性に優れた生地。

【帽子】

- ・ 着こなしにバリエーションを持たせられるよう、「キャスケット」「ハンチング」の2種類を採用。好みに合わせて選択可能。
- ・ メッシュ切り替えやベンチレーションホールで汗蒸れを軽減。
- ・ キャスケットにはアジャスターをつけ、お好みのフィット感に調整可能。

【シューズ】

- ・ かかと部分にモスバーガーのロゴ入り。エンボス加工でおしゃれな印象に。



【マネージャーコスチューム】



【キャストコスチューム】

※スラックスは既存のものから変更ありません。

<導入概要>

- 導入日 : 2023年6月1日（木）より順次切り替え
- 導入店舗 : 全国のモスバーガー店舗（一部店舗除く）

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR・SDGs グループ TEL. 03-5487-7371 E-mail. pr@mos.co.jp

<お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900

<ご参考>

モスフードサービス企業サイト <https://www.mos.co.jp/company/>
モスグループの環境・社会活動「モスの森」 <https://www.mos.jp/mori>
モス公式通販サイト「Life with MOS」 <https://ec.mos.jp/>